

13. 群馬大学医学部 (国立) <http://www.med.gunma-u.ac.jp/index.shtml> Gunma University Faculty of Medicine

〒371-8511 群馬県前橋市昭和町3-39-22

電話027-220-7111

e-mail : kyomu@mrd.hokudai.ac.jp

教養課程

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

電話027-220-7111

専門・教養課程所在地間の最寄交通機関による所要時間 約15分

1. カリキュラム全般について

A. 一般教育（教養）と専門教育との関係：

- 1) 学則上は一般教育（教養）部門を独立して設けている。
- 2) 一般教育（教養）の学習は1、2年生のみで行われる。
- 3) 専門教育（準備教育は除く）の学習は1年生から開始する。

B. 教授会は一般教育（教養）にはない。

C. 学生や教員や地域住民などに対し、医学部・医科大学としての一般目標や理念が印刷物や看板・ホームページなどのメディアで示されている。

D. 学生や教員が学習内容を予め知ることができるように、授業科目の学習目標（一般目標や行動目標）、授業内容、担当者などを印刷物（シラバス）でべて示してあり、その印刷物を医学部医学科学習要項という。

E. 4年生大学既卒者（学士編入生）は卒業学部にかかわらず、すべて3年生に編入する。

編入生の編入時期はすべて4月である。

F. 1年生の入学時オリエンテーションは2日間合宿して行う。

G. Early Exposure（医学教育の早い時期に医学・医療の場に接し動機づけを試みる教育）を行っている学年は1、2年生である。

その期間と内容：1年生：19日間：附属病院での看護・事務職員の業務の補助、病院ボランティア業務

その期間と内容：2年生：15日間：老人保健施設における入所者の介護の補助

H. PBL/チュートリアル（小グループで行う問題解決型学習）が導入されている。コアタイムの時間は

2年生は、平均して週2時間×年間18回である。

4年生は、平均して週2時間×年間30回である。

自習用に割り当てられている時間は

2年生は、平均して週4時間×年間18回である。

4年生は、平均して週3時間×年間30回である。

チューターは主として基礎医学系と臨床医学系の教員が行う。

チューター養成のためのトレーニングプログラムや講習会などが行われている。

I. 細胞・組織レベル、ないしは臓器系統別の統合カリキュラムを部分的に採用している。

J. 平成17年以降、大幅なカリキュラム改訂は、平成19年に行われ、それにはモデル・コア・カリキュラムを部分的に組み入れている。

「コア」以外のelectiveないしadvanced部分のカリキュラムの特色は下記のとおりである。

2年次：医学論文作成チュートリアル（総説、原著、症例報告など医学論文を半年で一報作成する） 4年次：一ヶ月間基礎系講座を選択し、研究に参加する。5～6年次：臨床実習の半分を選択カリキュラムにした。また、地域基幹病院での実習を必修とした。

- K. 今後のカリキュラム改訂は今のところ予定していない。
- L. 現在学内で、医学教育について検討されている事項は下記の点である。

過密気味になっている基礎系科目の充実 臨床実習やOSCE前の臨床手技（診断学）学習の充実 臨床実習と卒業研修の有機的結合 地域基幹病院との連携による学生教育

2. 選択制について

専門教科について選択制を採用している
専門教科で選択制としている教科は下記のとおりである。

選択基礎医学実習 臨床実習の約半期

3. 一般教育（教養）について

- A. 医学部医学科以外の学部や学科のある大学に伺います。
一般教育（教養）の授業は他学部（他学科）の学生と一緒に受ける。
- B. 他大学との単位互換について認めている。
- C. 医学部だけの大学に伺います。
一般教育（教養）の教員の所属はほとんどが自大学の所属である。
- D. 一般教育（教養）部門ではほとんどが選択科目である。
- E. 平成19年新入生で、高等学校などで「生物」を履修していない学生数は48%であった。
「生物」を履修しなかった学生に対して補習ないしは選択で授業を行っている。
- F. 平成19年新入生にはセンター試験が導入されていた。
入学者のうち「生物」を選択していた学生は約52%であった。

4. 基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）配属について

- A. 学生が一時期、基礎医学教室ないしは社会医学教室（研究室）に配属されるシステムがあり、
全員が4年生の時に平均して1週40時間×4週間配属される。

5. 臨床実習（外来実習、BSL、クリニカル・クラークシップを含む）について

- A. 臨床実習前に、まとまった形で医療面接・診察技法（例：臨床実習入門など）の学習を行っている。
（2日間）
身体診察の学習に医師や学生以外の標準模擬患者（SP）を導入してはいない。
- B. 臨床実習の実施学年とその期間は（早朝や時間外は省略）
5年の時、1週40時間で、28週間である。
6年の時、1週40時間で、14週間である。
- C. 臨床実習科目はコア科目を必修とし、その他を選択必修科目としている。
- D. 大学の附属病院以外の施設（国・公・私立病院や保健所・老健施設などでの実習、国内外を問わない）で臨床実習を行っている。
その期間は全部で2週で、そこで行う実習科目は病院により異なる。
この大学外の実習の場合の交通費は学生が自分で支払う。
- E. クリニカルクラークシップは臨床実習を行うすべての科で導入している。
- F. 臨床実習のための手引書は印刷物として配布されていて、それにはスケジュール、到達目標、医行為の範囲、評価法が記載されている。
- G. 臨床実習の評価として各診療科ごとの評価基準があらかじめ学生に示されている。
学習終了後に基本的臨床能力試験（OSCE）を行っている。
臨床実習の評価結果は合否（進級）の判定（総括評価）に用いられる。
そして不合格の場合は、不合格科目のみ再度臨床実習を行う。

- H. 臨床実習中の学生の安全管理対策については
 マニュアルが刊行されている。
 保険制度に加入している。
 ワクチン接種を行っている。

6. 学生の海外における実習について

- A. 学生の海外における実習は行っていない。

7. 評価について

- A. 進級判定が行われるのは1年終了時、2年終了時、3年終了時、4年終了時である。

- B. 成績の記録法は点数制を採用している。

- C. 卒業判定のための試験は行われていて、それは講座ごとと総合試験の両方である。

時期は10月から12月まで、期間は10週間（長期休暇期間を除く）である。

- D. 6年生の10月以降には、系統講義、臨床講義が組まれている。

また、大学による国家試験対策のための特別な講義が行われることはない。

- E. 卒前教育に携わっている教員に対し、教育業績の評価が行われ、その評価を行うのは、学部長・学長である。

自己評価以外の評価結果は本人にフィードバックされる。

その評価結果は昇進などに関係しない。

- F. 過去2年間に、卒前教育全体に対する第三者評価が行われたことはない。

8. 教員について（医学部・医学科および大学院学生の教育を担当する教員）

- A. 教員数（平成19年12月現在）

		教養*	基礎**	臨床***	附属研究施設	その他	合計
常勤 (有給専任)	教授		16	25			41
	准教授		13	34	2		49
	講師		15	43		1	59
	助教		19	113	1	6	139
	その他						0
	合計	0	63	215	3	7	288

非常勤(客員・無給を含む)	教授		23	15	2		40
	准教授		4	3	1		8
	講師			2			2
	助教						0
	その他		42	130			172
	合計	0	69	150	3	0	222

* 教養の常勤者は医学部所属者のみに限る。総合大学で医学部所属者がいない場合は空欄とする。

** 基礎は社会医学を含む。

*** 臨床は附属病院・分院を含む。

- B. 常勤の教員の任期制の制度を取り入れている。

任期制の制度の概要は下記のとおりである。

助教の任期は、5年。更新は2回まで

C. 教員や臨床実習時の指導医の医療事故に対する対応策については、取り決められていて、何らかの保険制度に、任意で加入している。

9. 学生数（平成19年12月現在）

学 年	総 数		うち学士編入者数	うち今年度留年者数（今年度のみ）	うち休学者数	うち外国人留学生	
	うち女子人数	うち女子人数					
1	86	33		0		1	
2	85	24		1			
3	111	37	15	10			
4	103	39	15	5			
5	98	37	15	1	1		
6	104	38	15	1			
合計	587	208	60	18	1	1	0

10. 平成19年4月（今年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数611名、合格者数85名、倍率7.2倍

入学者数85名、（定員85名、うち推薦入学者数20名）

入学者の状況：現役51名、1浪17名、2浪8名、その他*9名、

定員外に別試験で入学した外国人学生1名、

センター試験を導入している

センター試験で理科を何科目課しているか

2単科目

11. 平成19年（今年）の1年生以外の編入学状況

編入学者数／応募者数

3学年15／560

12. 平成18年4月（昨年）の医学部受験状況（編入は含まず、1年生のみ）

受験者数711名、合格者数85名、倍率8.4倍

入学者数85名、（定員85名、うち推薦入学者数20名）

入学者の状況：現役49名、1浪27名、2浪5名、その他*4名、

定員外に別試験で入学した外国人学生0名、

センター試験を導入している

13. 平成18年（昨年）の1年生以外の編入学状況

（学士の編入学制度のある大学のみご入力ください）

A. 編入学者数／応募者数 として表示してください。

3学年15／558

B. 編入学者地域わくについて（現在・今後地域わくについてご入力ください。）

地域わくは無い。

今後どのように考えていますか。

- 1.平成21年度から平成29年度の9年間、医学部医学科入学定員を5名増員し、地域医療を担う医師の養成を推進する予定。
- 2.従来、第3年次4月入学していた学士編入者の入学時期を1年繰り上げ21年度入試から第2学年次4月に変更する。

14. 授業時間配分

(1) 学期区分

学 年	学期制なし	学期制あり		総時間数		
		2学期制	3学期制	講義	実習	PBL/ チュートリアル
1		○				
2		○				
3		○				
4		○				
5		○				
6		○				

(アーリーエクスポージャーは実習時間数に含める。)

(2) 土曜日の授業（講義または実習）は全学年ない

(3) 時間配分の概略図（授業区分のブロック図）

新カリキュラム（総合）

1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
A		B・F	B・C		E
				E	D
		C		D	
		D	E		G

(註) A：教養（一般教育、基礎教育）

B：基礎医学（生理系：解剖、生理、生化など）

C：基礎医学（病理系：病理、微生物、薬理、寄生虫など）

D：社会医学（衛生、公衛、法医）

E：臨床医学（卒業試験を含む）

F：基礎医学や社会医学への配属やセミナー

G：学外研修（国内外を含む）

15. 医学専門教育（専門課程）の教科別授業時間数

A) 基礎医学（生理系）

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
解剖学	105	125	230
{ <ul style="list-style-type: none"> 系統解剖学 組織学 発生学 脳解剖学 			0
			0
			0
			0
生理学	72	28	100
生化学	6	56	125
分子生物学			0
小計	246	209	455

B) 基礎医学（病理系）

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
病理学	74	12	86
微生物学	33	24	57
(細菌学・ウイルス学)			0
薬理学	30	9	39
寄生虫学（医動物学）	32	2	34
免疫学	21		21
放射線基礎医学			0
(行動科学)	16	9	25
(検査学)	15	9	24
小計	221	65	286

C) 社会医学

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
衛生学	24	12	36
公衆衛生	28	8	36
法医学	21	4	25
医療（病院）管理学			0
小計	73	24	97

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
臨床医学			
心臓・脈管系疾患	36		36
呼吸器・縦隔胸壁疾患	36		36
内分泌・代謝疾患	36		36
消化器疾患	36		36
造血器・血液疾患	36		36
神経・精神疾患	54		54
小児疾患	20		20
アレルギー・膠原病・自己免疫疾患	20		20
腎臓・泌尿器疾患	20		20
特殊感覚器疾患	36		36
泌尿・生殖器疾患	54		54

授業科目名	講義時間数	実習時間数	合計時間数
皮膚・結合織疾患	20		20
放射線・核医学療法	20		20
臨床薬理学	20		20
運動器疾患	20		20
麻酔・蘇生学	20		20
口腔外科学	12		12
第一内科	80		80
放射線・核医学科	80		80
第一外科	80		80
産科婦人科	80		80
脳神経外科	80		80
第三内科	80		80
麻酔科・ICU・リハビリ	80		80
精神科神経科	80	—1020	80
第二外科	80		80
小児科	80		80
救急医学・総合診療	80		80
第二内科	80		80
泌尿器科	40		40
地域保健実習	40		40
眼科	40		40
耳鼻咽喉科	40		40
歯科口腔外科・検査部	40		40
医療情報部・臨床薬理学	40		40
整形外科	40		40
病理学	40		40
皮膚科	40		40
神経内科	40		40
小 計	1856	1020	2876
総 合 計	2396	1318	3714

各学年における講義時間数、実習時間数について

	講義時間数	実習時間数	合計時間数
1 学年			0
2 学年			0
3 学年			0
4 学年			0
5 学年			0
6 学年			0
合 計	0	0	0

16. その他の教育内容

独立した科目として授業が行われている科目：

行動科学（必修）、医療福祉学（医療社会福祉学）（必修）、医学外国語（必修）、医療安全（必修）、
医の倫理（必修）、緩和ケア（必修）、医療情報学（必修）、プライマリ・ケア（必修）、医療保険（必修）

独立した科目として授業が行われていない科目：

医史学、人類遺伝学（臨床遺伝学）、医用（電子）工学、医療経済、高齢医学、在宅ケア・介護、家
庭医学、臨床医学、人間関係学

18. MD-PhDコースを設置している。

（在籍者は、7名。）